



会期

2011年

5月28日(土)

～7月3日(日)

会場

展示室1

指定の◎は重要文化財、○は重要美術品です。
目録の順番は陳列の順番と一致しません。
都合により、出品作品が変更になることがあります。

出品目録

国産の磁器の誕生

現在の佐賀県有田町周辺で磁器が生まれたのは1610年頃のこと。朝鮮半島の技術と中国磁器の様式を取り入れて作られた染付磁器を、初期伊万里染付と呼んでいます。



No.	作品名	制作時期	列品番号	備考
1	染付寿字文大皿	1620-1640	41419	*
2	染付丸紋散文皿	1620-1640	41496	*
3	染付吹墨双鷺文皿	1620-1640	41507	*
4	染付丸紋散花卉文皿	1620-1640	41505	*
5	染付流水桜文皿	1620-1640	41500	*
6	染付瓜花菱文皿	1620-1640	41499	*
7	染付梅樹鳥文皿	1620-1640	41503	*
8	染付亀甲菊文皿	1620-1640	41506	*
9	染付山水文皿	1620-1640	41509	*
10	染付三葉文皿	1620-1640	41802	*
11	染付桐花文皿	1620-1640	41801	*
12	染付菊花文輪花皿	1620-1640	41804	*
13	染付鷺矢羽根文皿	1620-1640	41800	*
14	染付布袋文輪花皿	1620-1640	41702	*
15	染付山水文輪花皿	1620-1640	41510	*
16	染付山水文大皿	1620-1640	41473	*

美しく成長した磁器

陶器との違いをはっきりさせるために、磁器の皿はより白く、より薄く作り、より深い青色の文様を追及しました。高級感あふれる染付磁器が完成しました。



No.	作品名	制作時期	列品番号	備考
17	染付竹文皿	1640-1650	41512	*
18	染付竹虎文捻輪花皿	1640-1650	41526	*
19	染付波兔文皿	1640-1650	41518	*
20	染付月兔文皿	1640-1650	41808	*
21	染付色紙蛾文皿	1640-1650	41527	*
22	染付色紙花文皿	1640-1650	41812	*
23	染付双鳥文皿	1640-1650	41538	*
24	染付竹虎文捻輪花皿	1650-1660	41532	*
25	染付草花文皿	1650-1660	41564	*

赤や緑、黄色も使える！

肥前地方では、中国から新しい技術の導入に力を注ぎました。陶工と思われる中国人の指導で、赤や緑、黄色などの色彩が使えるようになりました。やや暗い色調の色絵の誕生です。



No.	作品名	制作時期	列品番号	備考
26	色絵鶉文稜花皿	1640-1660	40683	
27	色絵牡丹捻輪花皿	1640-1650	40684	
28	色絵桐花文輪花皿	1640-1660	41831	*
29	色絵八宝文輪花皿	1640-1660	41830	*
30	色絵縞文輪花皿	1640-1660	41833	*
31	色絵花唐草文皿	1640-1650	41832	*
32	色絵柏樹文輪花皿	1640-1660	41835	*
33	色絵山水文隅入菱形皿	1640-1650	41704	*
34	染付赤銀彩沢瀉文皿	1640-1650	41530	*
35	色絵花卉文皿	1660-1670	41598	*
36	色絵鳳凰文輪花皿	1640-1660	41450	*



肥前の青磁とは

日本人は10世紀頃から中国の青磁を使っています。我が国で青磁の器が焼けるようになったのは、肥前で17世紀初めのことでした。白磁に青緑色の青磁釉をかけた青磁です。



No.	作品名	制作時期	列品番号	備考
37	青磁瓶	1640 - 1650	41370	*
38	青磁染付流水花文三足皿	1640 - 1650	41432	*
39	青磁染付垣根鳥文三足皿	1640 - 1650	41433	*
40	青磁染付梅枝文三足皿	1650 - 1670	41591	*
41	青磁染付魚藻文花形三足皿	1650 - 1670	41845	*
42	青磁染付朝顔文三足皿	1670 - 1690	41622	*
43	青磁刻花大根文輪花鉢	1650 - 1670	41487	*
44	青磁月兎文皿	1670 - 1690	41900	*

独特な大徳利？

肩がついた下膨れの姿の瓶は、茶筌形の瓶とも言われるユニークな大徳利です。白磁、青磁、褐釉、色絵などさまざまな大徳利に、当時の流行の様子が窺われます。



No.	作品名	制作時期	列品番号	備考
45	青磁釉瓶	1640 - 1650	41385	*
46	白磁瓶	1640 - 1650	41386	*
47	褐釉染付花瓶	1640 - 1650	41404	*
48	染付山水文瓶	1650 - 1660	41403	*
49	染付瓢箪色紙文瓶	1650 - 1660	41380	*
50	色絵山水楼閣文瓶	1650 - 1660	41389	*
51	色絵青海波鷺文瓶	1650 - 1660	42038	*
52	色絵牡丹花瓶	1650 - 1660	41402	*

富士山から軍配まで 器形の楽しさ

轆轤ではなく型で皿を作る、これは革命的な技術で、肥前の陶工たちが轆轤税を払わずに焼物を作りたいと考案したのでした。富士山や葉、軍配、団扇、なんと楽しい器でしょう。



No.	作品名	制作時期	列品番号	備考
53	染付山水楼閣文富士山形皿	1660 - 1680	41742	*
54	染付銀彩山水楼閣文富士山形皿	1650 - 1680	41743	*
55	染付富士山文花形皿	1650 - 1680	41844	*
56	染付虎唐子文分銅形皿	1650 - 1680	41752	*
57	染付松樹文分銅形皿	1660 - 1680	41753	*
58	染付四方櫛文瓢箪形皿	1660 - 1680	41749	*
59	染付柴垣文軍配形皿	1660 - 1680	41751	*
60	染付雪柴垣文団扇形皿	1660 - 1680	41750	*



小さいことも魅力です

型で器形を作れるようになり、小さな皿でも同じ大きさや意匠で沢山作ることができました。手塩皿と呼ばれる豆皿も生まれ、愛らしさが肥前磁器の新しい魅力となりました。



No.	作品名	制作時期	列品番号	備考
61	色絵蕉葉文花形皿	1650 - 1670	41707	*
62	色絵蛇籠波文皿	1650 - 1670	41734	*
63	染付波鷺文皿	1650 - 1670	41719	*
64	銹釉染付柴垣文皿	1650 - 1670	41727	*
65	瑠璃地白抜花文皿	1660 - 1680	41728	*
66	染付毘沙門菱文皿	1660 - 1680	41739	*
67	薄瑠璃地染付猿文皿	1660 - 1680	41721	*
68	銹釉銀彩葉形皿	1660 - 1680	41724	*
69	染付蓮鳥文葉形皿	1660 - 1680	41723	*
70	染付赤金彩雲文葉形皿	1660 - 1680	41722	*
71	色絵花文花形皿	1660 - 1680	41735	*

優雅な染付磁器

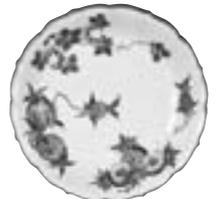
白磁が純白に近くなると、染付の青色も鮮やかさを増してゆきます。白地を多くのこした文様や意匠も洗練されて、口縁に施された鉄釉も染付の優雅さを強調しています。



No.	作品名	制作時期	列品番号	備考
72	染付紅葉鹿文輪花皿	1680 - 1700	41568	*
73	染付草文輪花皿	1680 - 1700	41571	*
74	染付扇面紅葉文皿	1680 - 1700	41852	*
75	染付松竹梅文花形鉢	1680 - 1700	41670	*
76	染付波鷺文三足皿	1680 - 1700	41581	*
77	染付柳鳥文菱形皿	1680 - 1700	41776	*
78	染付波文扇面形皿	1680 - 1700	41774	*
79	染付八宝文舟形皿	1680 - 1700	41760	*
80	白磁菊花形皿	1680 - 1700	41859	*

華やかな色絵 柿右衛門

陶工柿右衛門が、庭の柿の木に残った真赤な柿の実を見て、赤で文様を描きたいと工夫した逸話が、小学校の教科書にかつては載せられていました。華やかな赤色の色絵はやがて世界の「kakiemon」磁器になりました。



No.	作品名	制作時期	列品番号	備考
81	色絵藤花文小壺	1650 - 1660	42042	*
82	色絵菊花岩文鉢	1660 - 1670	41669	*
83	色絵芥子文花輪花小皿	1680 - 1700	41863	*
84	色絵梅牡丹文棧花鉢	1680 - 1700	41920	*
85	色絵椿文輪花鉢	1680 - 1700	41921	*
86	色絵唐子鳳上文輪花皿	1680 - 1700	41865	*
87	色絵梅竹文輪花鉢	1680 - 1700	41666	*
88	色絵三果文棧花皿	1680 - 1700	41604	*
89	色絵菊鳳凰文輪花鉢	1680 - 1700	41667	*
90	色絵唐花文八角鉢	1680 - 1700	41671	*

鍋島 格式ある美

肥前磁器が国内市場へ出回ると、鍋島藩は藩窯の経営に着手し、格式ある文様を独特の筆使いと色彩で描いた皿を作りました。尺皿、7寸皿、5寸皿、3寸皿という規格が特徴です。



No.	作品名	制作時期	列品番号	備考
91	青磁染付大根文皿	1670-1680	41870	*
92	染付人物文皿	1670-1680	41629	*
93	青磁染付山水文皿	1670-1680	41637	*
94	色絵岩竹文皿	1670-1680	40685	
95	色絵青海波水仙文皿	1670-1680	41010	
96	染付白鷺蓮葉文皿	1680-1700	41444	*
97	色絵紅葉万幕文皿	1680-1700	41636	*

型物古伊万里の世界

同じような形の器が沢山作られると、これを型で作った焼物、型物と呼ばれました。古い箱には「型物古伊万里」と墨書されたものが見られます。濃厚な色彩と文様が見どころです。



No.	作品名	制作時期	列品番号	備考
98	色絵双鳳八宝文鉢	1680-1700	41927	*
99	色絵牡丹文八角鉢	1680-1700	41692	*
100	色絵松竹梅文輪花鉢	1680-1700	41668	*
101	色絵人物文八角鉢	1680-1700	41693	*
102	色絵岩牡丹文鉢	1680-1700	41691	*
103	色絵魚藻文十二角鉢	1680-1700	41686	*
104	色絵松枝垂桜文十六角鉢	1700-1720	41492	*
105	色絵猪目唐花文八角小鉢	1700-1720	41966	*
106	青磁色絵牡丹文鉢	1690-1730	41935	*
107	色絵松樹鶴文鉢	1690-1720	41938	*
108	色絵唐人物文鉢	1700-1720	41947	*
109	色絵麒麟文鉢	1700-1740	41954	*
110	色絵宝尺双鳳文鉢	1690-1710	41955	*

江戸時代の made in Japan

17世紀後半、1660年頃から、肥前磁器は東南アジアから中近東、そしてヨーロッパ諸国へ輸出されました。しかし、これを日本磁器と理解したのは、オランダ人だけかもしれません。



No.	作品名	制作時期	列品番号	備考
111	色絵芥子花文四方瓶	1660-1670	41409	*
112	色絵秋草文十角鉢	1690-1725	41674	*
113	色絵椿菊牡丹文十角鉢	1690-1700	41673	*
114	色絵花卉文皿・器台	1700-1720	41607	*
115	色絵菊花文花形鉢・皿	1700-1720	41675	*
116	色絵人物花卉文四方瓶	1700-1720	41410	*
117	色絵菊花文髭皿	1730-1760	41608	*
118	色絵団菊文透文鉢	1700-1730	41677	*

並べることに意味があった

中近東諸国、そしてヨーロッパ諸国では、東洋からはるばる運ばれた磁器を、食器に使うとともに、室内装飾にも利用しました。大広間の壁一面に磁器を並べ、異国情緒を楽しみました。



No.	作品名	制作時期	列品番号	備考
119	染付牡丹飛鳥文大皿	1670-1690	41441	*
120	染付牡丹飛鳥文大皿	1670-1690	41442	*
121	染付山水樓閣文大皿	1670-1680	41420	*
122	染付岩牡丹文大皿	1670-1680	41430	*
123	染付傘人物文稜花皿	1690-1710	41436	*
124	色絵松樹牡丹文皿	1700-1730	41457	*
125	色絵牡丹菊文大皿	1700-1730	41453	*
126	色絵花包文大皿	1700-1730	41454	*
127	染付花卉人物文蓋付壺	1670-1700	41373	*
128	染付松下人物文四方瓶	1670-1690	41394	*
129	染付山水人物文瓢形瓶	1670-1690	41371	*
130	染付山水文瓶	1670-1690	41372	*
131	染付花卉鳥文蓋付壺	1670-1690	41368	*
132	色絵山水樓閣文皿	1680-1720	41456	*

茶の湯の伊万里

肥前磁器は、古染付や祥瑞とは違って「茶味がない」とされ、茶の湯の道具はあまり知られません。ここでは、伊万里の水指を軸に、肥前磁器だけで取り合わせてみました。



No.	作品名	制作時期	列品番号	備考
133	白磁印花文平茶碗	1670-1690	41860	*
134	瑠璃釉桔梗形茶器	1660-1670	42010	*
135	青磁三閑人蓋置	1650-1670	42056	*
136	染付山水文水指	1640年代	41986	*
137	瓢形風炉・釜	18-19世紀		
138	色絵荒磯文鉢	1690-1720	41683	*
139	色絵梅樹鳥文輪花皿	1670-1680	40693	
140	青磁染付青海波宝尺文皿	1690-1730	40691	



同時開催 テーマ展示

No.	指定 作品名	作者・賛者・銘・窯名・出土地等	員数	材質・技法	制作時期	列品番号	備考
-----	--------	-----------------	----	-------	------	------	----

【展示室2】近世の水墨画 Ink Painting in Pre-Modern Japan

1	鐘離権・鶴・鷺図	海北友松筆	3幅	紙本墨画	日本・桃山時代 17世紀	10698	
2	牧牛図	木村永光筆	1幅	紙本墨画	日本・桃山時代 16-17世紀	10711	
3	鷺・鷹図	曾我宗庵筆	2曲1隻	紙本墨画	日本・江戸時代 17世紀	10699	
4	木蓮棕櫚芭蕉図屏風	伝 立林何昂筆	2曲1隻	紙本墨画淡彩	日本・江戸時代 18世紀	10347	
5	寿老人図	渡辺始興筆	1幅	紙本墨画	日本・江戸時代 18世紀	10153	
6	七夕図	酒井抱一筆	1幅	絹本墨画淡彩	日本・江戸時代 19世紀	10659	小林中氏寄贈
7	○ 赤壁図屏風	長沢芦雪筆	6曲1双	紙本墨画淡彩	日本・江戸時代 18世紀	10304	

【展示室3～ホール】仏教彫刻の魅力 The Fascinations of Buddhist Sculpture

1	弥勒菩薩立像		1軀	石造(片岩)	クシャーーン時代 3世紀	20097	
2	四面仏碑像		1基	石造(石灰岩)	中国・北魏時代 6世紀	20063	
3	如来三尊像		1基	石造(砂岩)	中国・北魏時代 6世紀	20061	
4	如来三尊像		1基	石造	中国・北齊時代 6世紀	20338	
5	如来立像		1軀	石造(白大理石)	中国・北齊時代 6世紀	20069	
6	菩薩立像頭部	天龍山石窟第10窟	1個	石造(砂岩)	中国・北齊時代 6世紀	20066	
7	交脚菩薩像頭部	天龍山石窟第10窟	1個	石造(砂岩)	中国・北齊時代 6世紀	20065	
8	如来坐像頭部	天龍山石窟第16窟	1個	石造(砂岩)	中国・北齊時代 6世紀	20067	
9	◎ 十一面観音立像龕	宝慶寺	1個	石造(石灰岩)	中国・唐時代 7世紀	20341	
10	如来坐像頭部	天龍山石窟第18窟	1個	石造(砂岩)	中国・唐時代 8世紀	20078	
11	◎ 地藏菩薩立像		1軀	木造彩色	日本・平安時代 久安3年(1147)	20011	
12	不動明王立像		1軀	木造彩色	日本・平安時代 12世紀	20013	
13	地藏菩薩立像		1軀	木造彩色	日本・鎌倉時代 13世紀	20019	
14	帝釈天立像	定慶作	1軀	木造彩色	日本・鎌倉時代 建仁元年(1201)	20024	
15	梵鐘 [地階に展示]	金愛立・金礼発作 雲興寺	1個	青銅製	朝鮮・朝鮮時代 康熙29年(1690)	30136	

【展示室4】古代中国の青銅器 Ancient Chinese Bronzes

1	◎ 饗養文方盃	伝 河南省安陽殷墟侯家莊出土	3個		中国・殷時代 紀元前13-12世紀	90063-65	
2	饗養文爵		1個		中国・殷時代 紀元前13-11世紀	90105	
3	饗養文觚		1個		中国・殷時代 紀元前13-11世紀	90102	
4	○ 饗養文卣		1個		中国・殷時代 紀元前12-11世紀	90086	
5	◎ 饗養文罍	伝 河南省安陽殷墟侯家莊出土	1個		中国・殷時代 紀元前13-12世紀	90067	
6	◎ 饗養文甗	伝 河南省安陽殷墟侯家莊出土	1個		中国・殷時代 紀元前13-12世紀	90080	
7	◎ 饗養文尊	伝 河南省安陽殷墟侯家莊出土	1個		中国・殷時代 紀元前13-12世紀	90069	
8	◎ 饗養文尊	伝 河南省安陽大司空村出土	1個		中国・殷時代 紀元前13-12世紀	90070	
9	饗養文尊	伝 河南省安陽出土	1個		中国・殷時代 紀元前13-12世紀	90071	
10	饗養文尊		1個		中国・殷時代 紀元前12-11世紀	90075	
11	◎ 双羊尊		1個		中国・殷時代 紀元前13-11世紀	90074	
12	◎ 饗養文方罍	伝 河南省安陽大司空村出土	1個		中国・殷時代 紀元前13-12世紀	90079	
13	饗養文方罍		1個		中国・殷時代 紀元前12-11世紀	90081	
14	饗養文甗		1個		中国・殷～西周時代 紀元前11世紀	90082	
15	◎ 饗養文方彝		1個		中国・西周時代 紀元前10世紀	90094	
16	鳳文方壺		1対		中国・西周時代 紀元前9世紀	90097・98	
17	蟠螭文壺		1個		中国・春秋時代 紀元前7-6世紀	90099	
18	蟠螭文罇		1個		中国・春秋時代 紀元前6-5世紀	90120	
19	○ 蟠螭文鑑		1個		中国・春秋時代 紀元前5世紀	90113	
20	○ 雲文鑑		1個		中国・戦国時代 紀元前5-4世紀	90112	

【展示室5】硯箱 — 机上の華 Suzuribako: Writing Boxes as Elegant Desk Furnishings

1	◎ 花白河蒔絵硯箱		1合	木胎漆塗	日本・室町時代 15世紀	50001	
2	◎ 嵯峨山蒔絵硯箱		1合	木胎漆塗	日本・室町時代 16世紀	50002	
3	○ 菊蒔絵硯箱		1合	木胎漆塗	日本・室町時代 16世紀	50004	

No.	指定 作品名	作者・賛者・銘・窯名・出土地等	員数	材質・技法	制作時期	列品番号	備考
4	梅蒔絵硯箱		1合	木胎漆塗	日本・室町時代 16世紀	50051	
5	檜垣楓蒔絵硯箱		1合	木胎漆塗	日本・桃山時代 17世紀	50008	
6	菊薄蒔絵硯箱		1合	木胎漆塗	日本・江戸時代 17世紀	50018	
7	大宮人蒔絵硯箱		1合	木胎漆塗	日本・江戸時代 18世紀	50023	
8	御所車蒔絵硯箱		1合	木胎漆塗	日本・江戸時代 18世紀	50021	
9	虎溪三笑蒔絵硯箱		1合	木胎漆塗	日本・江戸時代 18世紀	50011	
10	扇面鶴鶴蒔絵硯箱		1合	木胎漆塗	日本・江戸時代 18世紀	50029	
11	唐門蒔絵硯箱		1合	木胎漆塗	日本・江戸時代 18世紀	50013	
12	流水鶴蒔絵硯箱		1合	木胎漆塗	日本・江戸時代 18世紀	50005	
13	瀧山水蒔絵硯箱		1合	木胎漆塗	日本・江戸時代 18世紀	50007	
14	三扇蒔絵硯箱		1合	木胎漆塗	日本・江戸時代 18世紀	50010	
15	椿象嵌硯箱	後藤光理作	1合	木胎漆塗象嵌	日本・江戸時代 18世紀	30231	
16	椿蒔絵硯箱		1合	木胎漆塗	日本・江戸時代 18世紀	50038	
17	椿山水蒔絵硯箱		1合	木胎漆塗	日本・江戸時代 18-19世紀	50066	
18	芙蓉打出硯箱	土屋安親・小川破笠作	1合	木胎漆塗象嵌	日本・江戸時代 18世紀	50059	
19	椿蒔絵硯箱		1合	木胎漆塗	日本・江戸時代 18世紀	50014	
20	達磨打出硯箱	伝 土屋安親作	1合	木胎漆塗象嵌	日本・江戸時代 18世紀	50034	
21	山水蒔絵硯箱		1合	木胎漆塗	日本・江戸時代 18世紀	50009	
22	梅蒔絵硯箱		1合	木胎漆塗	日本・江戸時代 18-19世紀	50063	
23	色紙短冊蒔絵硯箱・料紙箱		1具	木胎漆塗	日本・江戸時代 19世紀	50020	
24	牛曳蒔絵硯箱		1合	木胎漆塗	日本・江戸時代 19世紀	50006	
25	遍昭蒔絵硯箱		1合	木胎漆塗	日本・江戸時代 19世紀	50012	
26	山水蒔絵硯箱・料紙箱		1具	木胎漆塗	日本・江戸～明治時代 19世紀	50084	
27	片輪車蒔絵硯箱・料紙箱		1具	木胎漆塗	日本・江戸～明治時代 19世紀	50083	
28	籬菊蒔絵硯箱・料紙箱	中西松立斎作	1具	木胎漆塗	日本・明治時代 19世紀	50072	
29	山水蒔絵重硯箱		1具	木胎漆塗	日本・江戸時代 19世紀	50028	
30	鳳凰唐草蒔絵重硯箱		1具	木胎漆塗	日本・明治時代 19世紀	50064	

【展示室6】雨を楽しむ Enjoying the Rain

1	唐津草花文火入	唐津	1口		日本・江戸時代 17世紀	41036	
2	独楽真入		1合	木胎漆塗	東南アジア 16-17世紀	50549	
3	柄付真盆		1枚	木胎	日本・江戸時代 19世紀	50705	
4	百合形向付	野々村仁清作 御室	5口		日本・江戸時代 17世紀	41001	
5	○瀟湘夜雨図	岳翁蔵丘筆	1幅	紙本墨画	日本・室町時代 15世紀	10583	小林中氏寄贈
6	青磁下蕪花生	龍泉窯	1口		中国・元～明時代 14-15世紀	41288	小林中氏寄贈
7	蓮葉形釜		1口	鉄	日本・江戸時代 18世紀	30218	
8	唐銅丸形風炉		1口	銅	日本・江戸時代 19世紀	30264	
9	楽山綴日水指	楽山	1口		日本・江戸時代 18世紀	40635	
10	瀬戸茶入 銘 白雨	瀬戸	1口		日本・江戸時代 17世紀	40024	
11	雨漏茶碗 銘 優曇華		1口	粉青沙器	朝鮮・朝鮮時代 16世紀	40273	
12	堆朱龍文香合		1合	木胎漆塗	中国・清時代 17-18世紀	50333	
13	茶杓 共筒 銘 浮橋	千利休作	1本	竹	日本・桃山時代 16世紀	60034	
14	砂張舟花生		1口	合金	東南アジア 16-17世紀	30164	
15	上野斑釉水指	上野	1口		日本・江戸時代 17世紀	41192	
16	薩摩耳付茶入 銘 夜雨	薩摩	1口		日本・江戸時代 17世紀	40066	
17	金海茶碗 銘 龍宮		1口	粉青沙器	朝鮮・朝鮮時代 16-17世紀	40277	
18	古染付手桶水指	景德鎮窯	1合		中国・明時代 17世紀	40666	
19	黒漆中棗	秀次作	1合	木胎漆塗	日本・江戸時代 17世紀	50371	
20	刷毛目茶碗 銘 西江		1口	粉青沙器	朝鮮・朝鮮時代 16世紀	40246	
21	信楽茶碗 銘 水の子	信楽	1口		日本・桃山時代 16-17世紀	40157	
22	飴釉手桶水指	丹波	1口		日本・江戸時代 17世紀	40634	
23	井戸脇茶碗 銘 老松		1口	粉青沙器	朝鮮・朝鮮時代 16世紀	41179	
24	青磁花丸文建水	八代	1口		日本・江戸時代 17世紀	41092	

【特別ケース】宝飾時計 Decorated Clock

1	宝飾時計	機械：C・トンプソン作	1基	イギリス	18世紀	30301
2	宝飾時計	ジョン・モットラム作	1基	イギリス	18-19世紀	30302
3	宝飾時計		1基			30305

出品作品はすべて根津美術館蔵です。

関連プログラム | 伊万里・柿右衛門・鍋島 特別講演会

講演会 1 「伊万里の世界・鍋島の世界」

日時 2011年6月18日(土) 午後2時から午後3時30分

講演 西田 宏子(根津美術館 副館長)

場所はいずれも根津美術館 講堂 定員140名

【申し込み方法】往復はがきに、希望する講演会(「講演会1」または「講演会2」)、住所、氏名(返信面にも)、電話番号を明記のうえ、〒107-0062 東京都港区青山6-5-1 根津美術館「伊万里・柿右衛門・鍋島」係までお申し込みください。

講演会1は2011年6月3日(金)、講演会2は6月10日(金) 締切(当日消印有効)。

参加希望者1名につき1枚の往復はがきでお申し込みください。

応募者多数の場合は抽選となります。*聴講は無料ですが、入館料をお支払いください。

講演会 2 「柿右衛門研究の現在」

日時 2011年6月25日(土) 午後2時から午後3時30分

講演 櫻庭 美咲氏(国立歴史民俗博物館 機関研究員)

| ギャラリートーク

2011年6月3日(金)、6月17日(金) いずれも午後1時30分より約45分間イヤホンを使って行います。定員先着30名。午後1時よりホールにて整理券を配布します。*聴講は無料ですが、入館料をお支払いください。

根津美術館

NEZUMUSEUM

